

経大屈指の強豪クラブ貫録の大活躍

経スポ

ハンド部全日本八強



11月23日から11月27日に山梨県甲府市の小瀬スポーツ会館等で開催された全日本学生ハンドボール選手権に本学ハンドボール部が出場した。本学のハンドボール部の全日本学生ハンドボール選手権への出場は28年連続48回目となる。

11月23日の初戦は、駿河台大学と対戦。関西学生一部リーグで2位、西日本学生選手権でも3位に入賞している本学の實力からすると下馬評では圧倒的に本学有利であったものの、全国大会独特の雰囲気、試合開始当初は下級生の動きにやや堅さが見られたが、数々の経験を積み大舞台慣れた4年生が相手に流れを渡さない。本来の動きを取り戻した後は、本学が終始、駿河台大学を圧倒。35対20で初戦を突破した。

翌日の24日は、ベスト8をかけて福岡教育大学と対戦。前日からの好調を維持する本学ハンドボール部は前半5点のリードを奪うが、福岡教育大学もさすがの粘

りを発揮し、それ以上の点差を開くことが出来ずにいるところを、本学にとって不運なプレーが相次ぎ、後半には追い上げられ、まさかの同点とされるが、ここからゴールキーパー谷岡大地(経済4年)がフラインセーブを連発し何度か度々もチームのピンチを救った。まさに一点を争うシーソーゲームとなったが、ラスト30秒。これまでチームを牽引してきたエース永井雄也(人間科学4年)が値千金のゴールを叩き込む。ベンチとスタンドが歓喜に包まれたまま、

9対16で前半を折り返した。後半も日体大ベイスの試合展開が進むと予想されたが、トレーニングをしっかりと積んできて後半になっても運動量が落ちない本学が怒涛の反撃をしかける。残念ながら一歩及ばず29対33で敗れたものの後半のスコアは20対17で相手を上回る等、本学の強さを全国に充分過ぐるアピールをしてくれた。本学ハンドボール部の健闘に心から拍手を送りたい。



発行：大阪経済大学
スポーツ文化振興室

経大

